

会 議 録

会 議 名	文化によるまちづくり推進委員会（第1回）	
開 催 日 時	令和元年7月29日（水） 18時～20時	
開 催 場 所	市役所3階 大会議室	
出 席 者	齊藤大二郎、比嘉 朝康、岸田 茂、城戸 邦之 縄田 五月、原 雅典、富田 輝美、湯城 明彦 塩田 賢二、中川 正治	委 員 数 14人 出席者数 10人 欠席者数 4人
欠 席 者	廣田 由実、植田 良子、千々松武博、中戸 千恵	
事務担当課 及び職員	地域振興部文化振興課 地域振興部：川地部長 文化振興課：長井課長、渡辺主幹、丸田	
会 議 次 第	1 開会挨拶 2 議題 （1）副委員長の選出について （2）令和元年度文化振興事業について （3）令和2年度文化振興事業について （4）芸術文化の振興及び文化によるまちづくりの推進について 3 その他	
事務局 委員 委員	<p>議題2（1）副委員長の選出について 推進委員会の同意を得て、委員長が齊藤大二郎委員を指名、決定。</p> <p>議題2（2）令和元年度文化振興事業について 資料1に沿って説明。今年度新たに始めた事業である芸術文化アドバイザー制度及びガラス文化推進事業について説明。 山口県交響楽団コンサートに実際に行ってみて、オーケストラの迫力ある演奏を目の前で鑑賞し、とても感激した。昨年度のこの会議の議事録に、コンサートの入場者が少ないのが残念との意見があるが、このようなイベントは、入場者数が多いから成果があったと一概に言えるものではない。私はアラ還フェスティバルや和泉式部の墓、有帆ほたるまつり、現代ガラス展などいろいろな場に足を運んでいる。実際に体験しないとわからないことも多くあるので、委員のみなさんにもいろいろな行事に足を運んで欲しい。</p> <p>市民によい音楽を鑑賞してもらうにあたり、入場者数は重要なバロメーターのひとつ。開催日を他行事と重ならないようにし、より多くの市民に足を運んでもらえるイベントにして欲しい。昨年開催されたアンドレ・アンリトランペットコンサートに行ってみたが、入場者数が非常に少なくショックだった。市民に足を運ばせる仕組みづくりが欠けている</p>	

委員	<p>のでは。</p> <p>どの日程で開催しても誰かが都合が悪い。音楽に興味があるであろう吹奏楽部員も土日はコンクールの練習などで部活動がある。都合がつき足を運べた人は、実際に鑑賞してみてよかったよ、という声を周りの人に届けて欲しい。</p>
事務局 委員	<p>来年度の日程を決めるにあたり、参考としたい。</p> <p>文化に携わっていても、特定分野に限定され、興味の幅が狭いように感じる。もっと幅広く関心を持てば自らの文化レベルも上がると思う。また、事業を企画、実施する立場にある市職員には、いいものを鑑賞し、施策に反映させて欲しい。</p>
委員 委員	<p>市職員だけでなく、市民みんなにいいものを鑑賞して欲しい。</p> <p>将来を担う子供たちにいいものを伝えるには、親の芸術性の幅を広げることが重要。そのためにも、大人が優れた芸術を幅広く鑑賞することの大切さを実感する。</p>
委員長	<p>みなさんの意見から、子どもを対象とした文化振興事業の大切さを実感した。教育に携わる教育委員会の意見も聴きながら取り組んでいきたい。</p>
事務局	<p>(3) 令和2年度文化振興事業について</p> <p>令和2年度の最も大きな事業は現代ガラス展。その他は先ほどご説明した令和元年度事業と同様だが、子ども文化ふれあい事業、アウトリーチ事業、文化ふれあい事業は演目をかえて実施する予定。</p> <p>このなかで、子ども文化ふれあい事業では小学6年生に現代ガラス展を鑑賞してもらい、その後市民館等で芸術文化鑑賞をしてもらう案と、子ども文化ふれあい事業は例年通り文化会館で実施し、現代ガラス展は別事業として鑑賞の機会を設ける案を検討中だが、どちらが好ましいか。</p>
委員	<p>ガラス展鑑賞と他会場での芸術文化鑑賞を一度に行うスケジュールは、昼食をとる都合などから会場に近い学校であれば問題ないかもしれないが、遠くの学校の場合、移動時間を考慮すると日程的に厳しい。子ども文化ふれあい事業と現代ガラス展鑑賞は別事業として行って欲しい。</p>
委員	<p>来年度から小中学校の夏休み期間を短縮する自治体もあり、教育委員会と調整して早めに決定して欲しい。</p>
委員	<p>第二次総合計画において、文化によるまちづくりを重要な施策と位置付けているが、文化振興費予算は1,400万円あまりで十分なのか？中長期的な視点を持って文化振興計画を立てて欲しい。</p>
事務局	<p>文化振興施策の方向性を改めて見直し、今後の計画を練っていきたい。</p> <p>現在ある事業の中で委員さんの意見を聴きたいものがある。アウトリーチ事業は毎年小学校2校、中学校2校を巡回する形で行っているが、小学校には小学6年生を対象に行う子ども文化ふれあい事業や県が実施する学校芸術文化ふれあい事業など、他にも芸術文化に触れる事業を行っている</p>

委員	ことから、小学校の代わりに病院や施設など日頃コンサートホールに出向けない人を対象とした事業にしたいと考えるが、いかがか。
委員	非常にいい案だと思う。市内のお店で世界的に有名な方を招いたコンサートに行ったが、観客が11人しかおらず非常に残念。このような小規模だがレベルの高いコンサートを病院やお寺などで年数回行うことは、市民に質の高い芸術文化に触れてもらう機会を提供でき、文化振興に効果があると思う。
事務局	毎年小学生を対象に実施しているとはいえ、対象児童は毎年代わる。事業の中身を見て同じジャンルの内容が続くようであれば1回は病院や施設で実施するというふうに幅を広げていったらどうか。
事務局	今の小中学生を対象としたものを残しつつ、施設、病院でも開催できるよう検討したい。
事務局	(4) 芸術文化の振興及び文化によるまちづくりの推進について 本市の芸術文化の振興や文化によるまちづくりの推進にあたり、ご意見・ご要望があればお聴きしたい。
委員 事務局	この会議の場に芸術文化アドバイザーを招き、様々な意見を求めるべき。今回は都合により出席が叶わなかったが、芸術文化アドバイザーの方1名にも委員になっていただいている。
委員	だれにも馴染みのあるベートーヴェンの「第九」をおのだサンパークで歌うコンサートをしたらどうか。本番までに数回開催する練習は、「第九」レッスン付コンサートとして、本番はフラッシュモブのような形式を取り入れれば、参加者が集まると思う。
委員	おのだサンパークにピアノを置いて誰でも自由に演奏を楽しめる場を設けたらどうかと以前おのだサンパークに話をしに行き、承諾をもらえた。市から要望して欲しいとシティセールス課、教育委員会、文化振興課などいろいろな部署を回ったが、結局どこが窓口なのかわからず窓口を統一して欲しいと感じた。市内の七夕まつりに足を運んだら、高千帆マーチングバンドが演奏を披露したり、多くの学生ボランティアが運営に協力していたり、若い参加者の多さに驚いた。このような成功例を他の事業にも生かして欲しい。
委員長	文化振興事業については、文化振興課と協議しながら進めたい。また、文化振興事業は市の政策が関係する部分もあり、平成26年度に教育委員会から市長部局の所管となった。ただし、文化財については文化財保護法という国の法律に沿うものであることから教育委員会の所管のままになっている。ご理解いただきたい。
委員	先程の「第九」コンサートは良い案だと思うが、実施するとなると予算が関係してくる。合併10周年事業として市民から参加者を募りベートーヴェンの「第九」を合唱するイベントを行い、ぜひ翌年度も開催したいとの

委員	<p>話があったが、開催のための予算がつかず実現しなかった。実現に向けてどう政策的に進めるかが肝心。</p> <p>毎年開催している市民文化祭展覧会に作品を出展している。ひとつの会場で様々なジャンルの作品を鑑賞するというアイデアが当時は魅力だったのかもしれないが、近年は来場者も少なくそのアイデアも古いもののように感じる。個展を開けば出展者ひとりあたり10～50名の来場者があるのに、展覧会は200名を超える出展者に対して来場者は400名程度では。このように人が集まらなくなるのはなぜだろうと感じており、一度事業の見直しを考えるべき。</p>
委員	<p>文化振興を進めるにあたり、人材育成が重要。熱意を持って取組み、困難があっても長期にわたり取り組んでいく市職員を育てて欲しい。</p>
委員	<p>この度新しくなった市ホームページを情報発信の重要な手段として活用して欲しい。以前住んでいた自治体は本市より人口規模がやや小さな自治体だったが、毎月1回誰もが無料で参加できるコンサートを開催する際にはホームページで積極的に周知を行っていた。写真も多く掲載してあり見ている側も楽しくなる内容だった。そのような例を本市も見習って欲しい。</p>
委員	<p>今年度から始まった芸術文化アドバイザー制度はよい案だと思うが、芸術といっても様々なジャンルがあり幅広い。舞踊や美術などの分野など、30～40代くらいの若いメンバーも加え、様々な経験を通して育てて欲しい。この委員会にも若いメンバーを加えれば、その世代でないとわからない貴重な意見も聴くことができる。</p>
委員	<p>今の若者が芸術文化にあまり触れようとしないのは、スマホから様々な情報を得ているからではないか。スマホで見るものが自分にとっての最高の文化と感じているように思う。そんな子供たちに本物の芸術文化を鑑賞させ少し方向転換させることができれば、中には芸術文化に対する視点を変える子どもも出てくるのではないか。</p>
委員長	<p>3 その他</p> <p>この委員会は年2回開催することとしており、次回は冬頃の開催を予定している。委員のみなさんのご意見を今後の文化振興事業の企画運営に生かしていきたい。</p>